

寝屋川市高齢者保健福祉計画（2021～2023）に基づく事業等の実施状況と 次期計画の検討に向けた課題・方向性

(2023/07/01版)

（1）一人一人が“自分らしく”いきいき暮らす

計画項目	事業等の実施状況	課題・方向性
① 情報の発信と取得・活用の支援	[多様な媒体や機会を活用した効果的な発信] ・市広報誌（広報ねやがわ）、ホームページ、公式アプリ、各種SNSなどの多様な媒体や機会を通じて、積極的に情報を発信、よりわかりやすい内容とするよう、複数担当者で確認・推敲 ・介護予防の啓発と事業の周知のため、通所型サービス（短期集中）の表彰式や利用者の声を、市広報誌等で発信	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー世代が利用する媒体の状況や変化をふまえた効果的な発信 ・必要な状況を的確に得られるよう、情報の内容や検索方法等の改善 ・多様なつながりを活かした、口コミ等による情報伝達の強化
	[直接的に伝える取組] ・市公式アプリ等と同様の情報を「メールねやがわ」で発信	
	[情報取得への支援] ・高齢者スマホ教室を開催し、操作方法や市公式アプリの活用方法の学習を支援 ・市広報誌に市の情報発信媒体のQRコードを掲載 ・災害時の情報取得に関する記事を定期的に市広報誌に掲載	
② 地域活動・社会活動への参加や就労の支援	[身近な地域の活動の推進] ・元気アップ体操サポーター養成講座を開催、地域支え合い推進員と連携して新たな活動の立ち上げ等を推進 ・介護予防の通いの場を運営する団体に補助金を交付 ・地域支え合い推進員が活動場所などの資源開発やネットワークづくり、ニーズと取り組みのマッチングなどを実施 ・地域資源情報管理システムを更新・活用し、通所型サービス（短期集中）卒業後の通いの場などの情報提供やニーズとのマッチングを実施 ・市・圏域の地域ケア会議やCSW連絡会を通じて、多職種間での意見交換や社会資源の情報共有を実施	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー世代の活動、市民活動の活性化のための取り組みの継続 ・コロナ禍で孤立を深めた住民を支援する活動の拡充 ・近所や送迎付きの通いの場へのニーズが高いことをふまえた取り組み ・健康をテーマにした気軽な活動などの立ち上げの支援 ・シルバー世代のニーズに応じた生涯学習・スポーツの情報発信や支援 ・シルバー世代の生きがいや収入のための就労の支援 ・有償活動への参加促進のための啓発
	[ボランティア・NPO等の活動の推進] ・老人クラブ連合会に補助金を交付 ・校区福祉委員会で見守り活動やサロン活動を実施 ・市民活動センター等で市民活動の情報収集・提供、各種講座、地域とのネットワークづくりを実施 ・各種ボランティア講座、登録ボランティア（個人・団体）による支援活動を、感染防止に配慮して社協が実施	
	[生涯学習・スポーツ、文化・趣味活動等の推進] ・情報誌「ねやがわ生涯学習あんない」を発行 ・市民による「まちのせんせい」の派遣や体験講座を実施 ・生涯スポーツのイベントや教室の開催、情報提供、スポーツ推進委員・リーダーズバンク登録者等による指導を実施	
	[多様な就労的活動の推進] ・シルバー人材センターに補助金を交付、仕事を発注 ・地域就労支援センターで就労相談やハローワーク等と連携した支援を実施 ・生活困窮者自立支援事業で就労相談や支援を実施	

計画項目	事業等の実施状況	課題・方向性
	<p>[参加の呼びかけやきっかけづくり]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域支え合い推進員を市域・圏域に配置し、有償活動員の養成や地域資源の把握を実施 ・在宅支援員養成研修、有償活動員フォローアップ講座を開催 <p>[多様な活動の立ち上げや継続への支援]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域支え合い推進員を市域・圏域に配置し、有償活動員の養成や地域資源の把握を実施、シルバー世代の通いの場となる活動の立ち上げを支援 	
<p>③ 介護予防・重度化防止、認知症予防の推進</p>	<p>[地域のさまざまな活動への参加の促進]《重点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主活動などの社会参加活動による介護予防を推進するため、元気アップ体操サポーター養成講座、元気アップ介護予防ポイント事業、在宅支援員養成研修、有償活動員養成講座を実施、通いの場介護予防活動支援補助金を交付 <p>[認知症予防の推進]《重点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症予防の理解を深める講座を開催 ・自主活動などの社会参加活動により、認知症予防（介護予防と連動して実施）を推進 <p>[重度化防止や活動量の多い元の生活を目指す取組の推進]《重点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援型地域ケア会議や通所型サービス（短期集中）などを通じて、効果的な支援を実施 ・介護支援専門員とリハビリテーション専門職が同時訪問する訪問指導を通じて、多職種連携による支援を推進 <p>[運動を通じた介護予防の推進]《重点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域での元気アップ体操を推進するため、サポーター養成講座を開催 ・元気アップ体操等の地域の集まりの場で、フレイル防止の運動についての講話を実施 <p>[生活習慣の改善の取組の推進]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健事業と介護予防の一体的実施として、フレイル予防の啓発や介護予防イベントでの健康相談コーナーを実施 ・骨粗しょう症予防教室、ヘルスアップ教室、糖尿病予防講座、適塩生活講座を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者や地域組織等とも連携した、多様な通いの場づくり ・コロナ禍により休止した活動の再開等への支援 ・市民の認知症理解を深める啓発と、介護予防と連動させた認知症予防の推進 ・短期集中通所サービスでのセルフマネジメントの推進、支援の質を高めるための研修の実施 ・保健事業と介護予防の一体的実施によるフレイル予防などの取り組み ・個別的な対応を含めた健康教育の推進
<p>④ 権利擁護の支援</p>	<p>[権利擁護への理解]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護の理解をすすめるための啓発や学習を実施 ・地域包括支援センターの総合相談で個別の対応を実施 <p>[高齢者虐待等の防止]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設・事業所での虐待防止のため、研修の情報を提供 ・高齢者虐待防止ネットワーク会議を開催し、高齢者虐待の早期発見・防止に向けた関係機関との情報共有を実施 <p>[高齢者虐待等の早期発見・対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待防止ネットワーク会議を開催し、高齢者虐待の早期発見・防止に向けた関係機関との情報共有を実施 ・地域包括支援センターでの対応力向上のため、職員向けの研修を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待防止のネットワークや、早期発見・対応の取り組みの充実 ・成年後見制度の周知と利用支援、中核機関の設置等に関する取り組みの推進 ・日常生活自立支援事業と成年後見制度などが連動した

計画項目	事業等の実施状況	課題・方向性
	<p>[後見的支援の推進と利用促進]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成年後見制度利用促進事業で、市長申立と報酬助成を実施 ・ 事業者との会議や研修を通じ、専門職への権利擁護の啓発や情報共有を実施 ・ 地域福祉計画推進委員会で成年後見制度の利用促進に関する検討を実施、庁内関係課と中核機関に関する情報共有や今後の方針についての協議を実施 ・ 日常生活自立支援事業を社協が実施 	包摂的な支援の推進

(2) 生活や介護をしっかりと支える

計画項目	事業等の実施状況	課題・方向性
① “困りごと” に気づき、 支援につな ぐ取組	<p>[自ら“困りごと”に気づく支援]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域支え合い推進員を市域・圏域に配置し、地域資源の把握を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間事業者等との連携による地域資源の拡充、見守りネットワークへの参加の促進、警察や関係機関等との連携 ・ 地域包括支援センターのネットワーク構築による機能強化や情報発信 ・ 校区福祉委員会の活動などとも連動した相談窓口等の周知
	<p>[見守り・声かけの取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの民間事業者と協定を締結し、高齢者見守りネットワークを充実 ・ 地域で活動する民生委員児童委員や社会福祉協議会を支援 ・ 校区福祉委員会でひとり暮らし高齢者の調査と見守り活動を実施、調査実施時に救急医療情報キットを配布・更新、見守り活動と連動し、地域の福祉施設でひとり暮らし高齢者のかぎ預かりと緊急時の安否確認を行う取り組みを実施 	
	<p>[相談につながる取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括支援センターがいつそう身近な窓口となるよう、情報発信や地域に出向いた支援などでつながりづくりを推進、地域包括ケアシステムの中核機関としての専門性を強化し、効果的・効率的に運営できる体制の整備を推進 ・ 地域で活動する民生委員児童委員や社会福祉協議会を支援 ・ まちかど福祉相談所やコミュニティソーシャルワーカーの活動を、校区福祉委員会の活動等とも連動して社協が周知 	
② 相談窓口と ネットワー クの充実	<p>[地域包括支援センターの利用の促進]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括支援センターがいつそう身近な窓口となるよう、情報発信や地域に出向いた支援などでつながりづくりを推進、地域包括ケアシステムの中核機関としての専門性を強化し、効果的・効率的に運営できる体制の整備を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括支援センターのネットワーク構築による機能強化や情報発信 ・ 圏域ごとの取り組みの共有による効果的な方法の普及 ・ 地域ケア会議を通じた関係機関の情報共有の推進 ・ コロナ禍の影響や経済情勢などもふまえた多様な課題
	<p>[介護事業所や医療機関等での取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括支援センターが介護保険事業所等と連携し、身近な場所での相談や必要な機関につなぐ取り組みを推進 ・ 地域包括ケアシステムを深化するよう、多職種連携を推進 	
	<p>[地域の相談活動との連携]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で活動する民生委員児童委員や社会福祉協議会を支援 ・ 地域の身近な相談場所として、社協が校区福祉委員会と連携してまちかど福祉相談所を開所 	

計画項目	事業等の実施状況	課題・方向性
	<p>[当事者どうしの相談活動との連携]</p> <ul style="list-style-type: none"> 交流を通じて孤立を防ぐ活動を行うひとり暮らし高齢者の会、懇談会・交流会やリフレッシュ事業などを実施している介護者の会を社協が支援 障害者団体による当事者どうしの相談や交流を支援 <p>[相談機関等のネットワークの充実]《重点》</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種地域ケア会議などを通じて多様な関係者のネットワークを広げ、地域包括ケアのしくみづくりや個別ケースの支援などでの連携を強化 ネットワーク型地域ケア会議で圏域の取り組みや課題を集約・フィードバックし、市域での取り組みを推進 自立支援型地域ケア会議でケース検討を実施 <p>[複合的な課題等への支援]</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者支援で出てきた複合的な課題に、地域包括支援センター、関係部署、外部の専門職、民間事業者、地域の福祉関係者などと協力し、包括的な相談体制づくりを実施 市・圏域にコミュニティソーシャルワーカーを社協が配置し、校区福祉委員会やまちかど福祉相談所と連動して相談支援活動を実施 重層的支援体制整備事業の導入について、先進地視察等の情報収集、庁内での情報交換を実施 	<p>への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 幅広い連携による包括的な相談支援体制づくり 重層的支援体制の整備に向けた検討 会員減少や担い手不足などの課題をかかえる当事者団体への支援の検討
③ 日常生活を支援するサービスや活動等の充実	<p>[多様な“困りごと”を支えるサービス等の推進]</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域支え合い推進員を市域・圏域に配置し、地域資源の把握を実施 シルバー世代の“困りごと”のひとつである外出の支援として、タクシーを利用した乗合い事業、利用券を配布するバス利用促進事業を実施 <p>[身近な地域での支え合い活動の推進]</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅支援員養成研修、有償活動員フォローアップ講座を開催 校区福祉委員会が小地域ネットワーク活動として、声かけ見守り活動、個別援助活動、グループ援助活動（サロン、食事会）、子育てサロン活動、配食サービス活動、地域ミニデイサービス活動等を実施 小地域ネットワーク活動を行う社会福祉協議会を支援 <p>[住まいの確保とバリアフリー化への支援]</p> <ul style="list-style-type: none"> 府の居住支援協議会（Osakaあんしん住まい推進協議会）等と連携し、シルバー世代等が安心して入居できる賃貸住宅の情報提供等を推進、セーフティネット住宅の情報を市ホームページやパンフレット等で発信 	<ul style="list-style-type: none"> 多様化・複雑化するニーズに対応するための、分野を超えた民間事業者等との連携による地域資源の拡充 有償活動参加促進のための啓発 感染症対策に留意したうえでの地域の支えあい活動のいっそうの活性化 シルバー世代の住まいへの多様な支援
④ 介護を支援するサービスや活動の充実	<p>[介護保険サービスの提供]</p> <ul style="list-style-type: none"> 北河内地域介護人材確保連絡会議を開催し、行政や関係機関が連携して人材確保や定着支援を推進 <p>[介護予防・生活支援サービスの充実]</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護予防・生活支援サービスを提供する団体に補助金を交付 	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防・重度化予防や日常生活の自立支援のための多様な主体によるサービスの充実 ニーズに対応する

計画項目	事業等の実施状況	課題・方向性
	<p>[居住に関する多様なサービスの推進]</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護老人福祉施設や、特定施設入所者生活介護、認知症対応型共同生活介護、小規模多機能型居宅介護などの居住系のサービスを整備 <p>[サービス利用の経済的な負担の軽減]</p> <ul style="list-style-type: none"> 低所得者保険料軽減負担軽減、第1号被保険者保険料独自減免を実施 負担限度額認定や障害者控除の制度を周知 ケアプラン点検を実施し、適切なサービス利用を推進 <p>[手続きの支援と簡素化]</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域包括支援センターのリーフレットや地域の福祉関係者を通じて、介護認定の支援に関する情報提供を実施” <p>[災害や感染症への対策]</p> <ul style="list-style-type: none"> 協定を提携した福祉避難所の物品の入れ替えを実施 要配慮者施設の避難確保計画の作成を促進 新型コロナウイルス感染症への対応として、施設運営に関するガイドラインやマニュアルの策定や、対策に必要な衛生用品の配付を実施 福祉施設に向けて感染症に関する正しい知識の普及啓発活動や資料提供、研修を実施 	<p>ための、公民連携による介護従事者の効果的な確保の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 見込量に応じた施設整備の実施 低所得者に対する経済的負担の軽減 介護保険制度や手続きの周知の推進 全施設での避難確保計画の作成、避難訓練の定期的な実施 感染症対策の継続と体制の構築、感染症全般に関する研修や資料提供の実施
⑤ 認知症の人への支援の充実	<p>[認知症の理解と支援への参加] 《重点》</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症サポーター養成講座、認知症サポーターステップアップ講座を開催 認知症フォーラム実行委員会で認知症支援の普及啓発動画を作成・周知 認知症ケアパスを配布 <p>[認知症の相談体制の充実] 《重点》</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症初期集中支援チーム員会議を定例で開催 <p>[認知症の人や家族への支援] 《重点》</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症の人と家族の困りごとの解消をめざすチームオレンジの構築に向け、民間事業者・関係団体とワーキンググループを設置して検討 認知症初期集中支援チームによる初期集中支援や早期発見・早期対応などを行うオレンジ訪問のしくみを充実、周知を実施 <p>[認知症の人の権利擁護の支援] 《重点》</p> <ul style="list-style-type: none"> 成年後見制度利用促進事業を実施 <p>[認知症支援スキルの向上] 《重点》</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症初期集中支援チームによる専門職研修の開催を支援 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症基本法に基づく取り組み 認知症になっても安心して暮らせる街づくりの啓発 初期集中支援、オレンジ訪問の充実 認知症初期集中支援チーム員会議、チームオレンジ構築の活動の継続 当事者、サポーター、支援者での居場所づくり 市長申立等の権利擁護支援の実施 認知症支援の専門職研修と専門職のつながりづくり
⑥ 介護者への支援の充実	<p>[適切な介護サービス等の利用]</p> <ul style="list-style-type: none"> 給付適正化計画に基づくケアプラン点検、介護給付費通知の送付を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ケアプラン点検等の給付費適正化事業による、適切な

計画項目	事業等の実施状況	課題・方向性
	<p>[学習や健康保持等の支援]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターが在宅介護の知識・技術等の情報提供を実施 ・介護保険制度の案内や介護認定の支援を通じて、介護者の健康管理や休息への支援を実施 ・当事者団体による男性介護者の会について、場所の確保や周知活動を支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス等が利用できる体制の構築 ・地域包括支援センターを通じた介護者支援の情報の周知
	<p>[介護離職防止の取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護負担による離職の防止に向けた対応を、地域包括支援センターを相談窓口として実施 ・介護者家族の会、男性介護者の会の情報提供を実施 	
⑦ 支援の質を高める取組	<p>[ケアマネジメントの充実]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援型地域ケア会議でケース検討を実施、ネットワーク型地域ケア会議を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク型地域ケア会議等を通じた、市の方針の伝達や関係者間の情報共有の充実 ・委託の調査員と市調査員の情報交換会等による平準化の推進 ・独自の実施も含めたケアアプラン点検の推進 ・コロナ対応で休止した運営指導等の体制の再構築 ・市民への情報公開や意見聴取の推進
	<p>[要介護認定の平準化]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定調査票の全件点検、e-ラーニングによるテストにより要介護認定の平準化を実施 ・事業所委託・個人委託の認定調査員への現任研修を、感染症対策として書面で実施 	
	<p>[従事者等のスキルの向上]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援型地域ケア会議でケース検討を実施、ネットワーク型地域ケア会議を開催 	
	<p>[事業者への助言や指導の強化]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラン点検、有料老人ホーム等への指導を実施 ・市が指定する全ての事業所を対象として、集団指導・運営指導を実施（コロナ禍の影響で実施件数は減少） 	
	<p>[サービスの情報公開の推進]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページのトップページに介護サービス事業者検索ページのリンクを配置するなど、わかりやすく工夫 	
	<p>[サービス評価や利用者の意見を活かした改善]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービスの適用に関する意見を公正かつ中立的な立場で聞くため、苦情調整委員を設置 	

(3) 地域包括ケアを推進する

計画項目	事業等の実施状況	課題・方向性
① 相談・支援のネットワークと連携・協働	<p>[地域包括ケアのネットワークの充実] 《重点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種地域ケア会議などを通じて多様な関係者のネットワークを広げ、地域包括ケアのしくみづくりや個別ケースの支援などでの連携を強化 ・ネットワーク型地域ケア会議や課題解決型地域ケア会議で関係者の連携による取り組みを推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・重層的支援体制の整備に向けた検討 ・地域ケア会議を通じた関係者間の情報共有、ICTのいっそうの活用 ・多様な人が参加して課題解決を行うネットワークづくり
	<p>[地域ケア会議等での課題の検討] 《重点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市地域ケア会議で圏域の取り組みや課題を集約・フィードバックし、市域での取り組みを推進 	

計画項目	事業等の実施状況	課題・方向性
	<p>〔「地域共生社会」の実現に向けた取組〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 重層的支援体制整備事業の導入について、先進地視察等の情報収集、庁内での情報交換を実施 市民の関心が高い防災をテーマとしたネットワークづくりとして、校区福祉委員会が主体となり、シルバー世代、障害当事者、施設関係者、民生委員児童委員などと「災害時に備えた地域丸ごと座談会」を実施 	
<p>② 在宅医療・介護連携の充実</p>	<p>〔計画的な在宅医療・介護連携体制の構築〕《重点》</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院・訪問看護ステーションなどへの訪問を通じて、市内医療資源と人材を把握 基本チェックリストに基づき認知症予防の啓発や認知症の早期発見・対応に結びつけるオレンジ訪問を実施 <p>〔多職種連携の推進〕《重点》</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護連携推進協議会や研修会を開催 多職種参加による専門職研修会を定期開催 <p>〔地域医療体制の充実〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師会、歯科医師会、薬剤師会と連携し、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局の周知・啓発を実施 かかりつけ医療機関安心MAPの作成に協力・配布 成人保健の健康情報誌「すこやかサポートブック(旧健康づくりプログラム)」を配布、冊子・アプリの周知チラシを配布 <p>〔大阪府医療計画等の連携〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 北河内保健医療協議会に参加し、府・関係機関と協議 	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源と人材の把握 関係機関・団体や専門職の連携強化、情報共有、合同研修等の推進 オレンジ訪問等の多様な連携による取り組みの推進 府・関係機関との協議の推進 分野を超えた地域包括ケアの推進
<p>③ 地域包括ケアの担い手づくり</p>	<p>〔福祉・介護の仕事のやりがい・魅力の向上と理解の促進〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 北河内地域介護人材確保連絡会議を開催し、行政や関係機関が連携して人材確保や定着支援を推進 <p>〔福祉・介護の就業環境を改善する取組〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 北河内地域介護人材確保連絡会議を開催し、行政や関係機関が連携して人材確保や定着支援を推進 <p>〔福祉・介護サービスの多様な担い手づくり〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅支援員養成研修、有償活動員フォローアップ講座を開催 	<ul style="list-style-type: none"> 公民連携による介護従事者の効果的な確保の推進 地域支え合い推進事業や短期集中通所サービスなどと連携した、福祉の仕事の普及啓発
<p>④ つながり支え合う地域づくり</p>	<p>〔困ったときに支え合う地域づくり〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会の各種事業への補助や地域協働基礎交付金を実情に応じて見直ししながら、活動支援を実施 市と地域協働協議会との連携強化のため、地域協働協議会関係者会議を通じた情報共有や、担い手の負担軽減に向けた実施事業、組織の見直しを支援 在宅支援員養成研修、有償活動員フォローアップ講座を開催 <p>〔日常的な支え合いの推進〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域支え合い推進員を市域・圏域に配置し、住民どうしの支えあいなどを含む社会資源を創出 	<ul style="list-style-type: none"> 民間事業者等との連携による地域資源の拡充 ニーズ把握に基づく多様な通いの場づくり 重層的支援体制の整備に向けた検討

計画項目	事業等の実施状況	課題・方向性
	<p>[地域課題の解決の取組の推進]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域支え合い推進員を市域・圏域に配置し、住民どうしの支えあいなどを含む社会資源を創出 ・シルバー世代の支えあいによる通いの場づくりや通所型サービス（短期集中）利用者へ社会参加を社協が支援 ・重層的支援体制整備事業の導入について、先進地視察等の情報収集、庁内での情報交換を実施 	
⑤ 安全・安心なまちづくり	<p>[災害への備えと支援体制づくり]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協定を提携した福祉避難所の物品の入れ替えを実施 ・避難行動要支援者安否確認マニュアルを作成し、名簿の取り扱いを具体的に提示 ・校区福祉委員会が主体となり、シルバー世代、障害当事者、施設関係者、民生委員児童委員などと「災害時に備えた地域丸ごと座談会」を実施 <p>[安心して過ごせる避難所や支援の充実]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所の備蓄物資として尿とりパットを導入 <p>[シルバー世代を犯罪や事故から守る取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯協会等の地域住民による自主的な防犯活動や啓発活動等の取り組みを支援し、地域全体で防犯意識を高揚 ・犯罪学の専門家による効果的な防犯カメラの設置箇所の検証、自治会設置防犯カメラ等の市への移管を実施 ・シルバー世代等の交通事故を防止するため、警察と連携し交通安全講習会を実施 ・消費生活相談を実施、消費者被害の未然防止のため自動通話録音装置の貸与、民生委員、地域包括支援センター等と連携した支援や情報提供を実施 ・校区福祉委員会がひとり暮らし高齢者を中心に心配な方の見守り活動を実施、詐欺被害が疑われる場合などはCSWと連携して対応、校区福祉委員会委員長協議会で寝屋川警察が特殊詐欺被害防止の啓発を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉避難所協定施設の拡大 ・訓練等を通じた避難行動要支援者名簿の随時修正 ・多様なニーズに対応する備蓄の充実 ・感染症に配慮した避難等の検討 ・防犯活動の新たな人材の確保・育成 ・検証に基づく効果的な防犯の推進 ・シルバー世代を犯罪や事故から守る声かけなどの実施 ・シルバー世代の消費者被害の未然防止・早期解決 ・交通安全講習会等を通じた交通安全意識の向上
⑥ バリアのないまちづくり	<p>[ユニバーサルデザインのまちづくり]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園の出入口や園路、トイレ等のバリアフリー化、休憩所などの整備を推進 ・府の福祉のまちづくり条例に基づき、事前協議対象建築物にバリアフリー化の対応の指導を実施、市が管理する施設等でバリアフリーを考慮した整備を推進 <p>[移動の支援の充実]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者交通系ICカード購入補助、外出援助サービスを実施 ・シルバー世代等の外出の支援として、タクシーを利用した乗合い事業、利用券を配布するバス利用促進事業を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市施設や建築物等のバリアフリー化を通じた外出促進による、日常生活の利便性の向上と社会参加の促進 ・公共交通等の利用実態の把握と対応 ・情報のバリアフリー化の取り組み